

聖書日課 『からし種』 2019.1.20~1.27

<p>20日 (日)</p> <p>エフェソ 5章</p>	<p>「愛のうちに歩きなさい。キリストもあなたがたを愛して下さって、わたしたちのために、ご自身を…ささげられたのである」(口語訳:2節)。「愛のうちに歩きなさい」(Walk in Love)とパウロは語る。ただし「わたしの愛」ではなく、「キリストの愛」のうちに。「わたしの利益」ではなく、「隣人の利益」を祈る者とされて。</p>
<p>21日 (月)</p> <p>エフェソ 6章</p>	<p>「立って、真理を帯として腰に締め、正義を胸当てとして着け、平和の福音を告げる準備を履物としなさい」(14-15節)。パウロは兵士が身に着ける武具にたとえて、キリストの真理と正義、平和に生きることの厳しさを語る。主イエスご自身も常に心の内に闘いを抱えて、神に助けを祈りながら歩まれた。その主の足跡に我が足を重ねて。</p>
<p>22日 (火)</p> <p>フィリピ 1章</p>	<p>「わたしはこう祈ります。知る力と見抜く力とを身に付けて、あなたがたの愛がますます豊かになり、本当に重要なことを見分けられるように」(9-10節)。パウロは祈る、「愛がますます豊かになるように」と。「愛」が私の行動・判断、すべての基準になるとき、本当に重要なことが見えてくる。一日の初めに「主の愛」を教えてくださいと祈りたい。</p>
<p>23日 (水)</p> <p>フィリピ 2章</p>	<p>「何事も利己心や虚栄心からするのではなく、へりくだって、互いに相手を自分よりも優れた者と考え、めいめい自分のことだけでなく、他人のことにも注意を払いなさい」(3-4節)。私の中には、利己と虚栄の思いが常にうごめいている。その私の足もとに主がひざまずいて足を洗ってくださっている。その主の低さを心に刻む者とされて。</p>

あげメール配信登録メール senfkorn.obc@gmail.co 大井バプテスト教会

メール配信希望の方は名前とアドレスを明記の上、上記のアドレスまで

聖書日課 『からし種』 2019.1.20~1.27

<p>24日 (木)</p> <p>フリピ 3章</p>	<p>「わたしの主キリスト・イエスを知ることのあまりのすばらしさに、今では他の一切を損失とみています。」(8節)。 パウロは血筋や学歴においても、律法の実践においてもエリート街道を歩んできた人。しかしキリストの恵みを知った今、そのような「人間的誇り」は邪魔ものにすぎないという。自分を誇るのではなく、主の恵みを誇る者とされたい。</p>
<p>25日 (金)</p> <p>フリピ 4章</p>	<p>「わたしは、自分の置かれた境遇に満足することを習い覚えたのです。貧しく暮らすすべも、豊かに暮らすすべも知っています」(11-12節)。パウロはキリストにある自由を得ていた。「何をしてもいい！」という、自己充足の自由ではなく、「どんな時、どんな境遇でも、神は共にいて導いてくださる」という、神の恵みと共にある自由を知っていた。</p>
<p>26日 (土)</p> <p>コロサイ 1章</p>	<p>「ただ、揺るぐことなく信仰に踏みとどまり、あなたがたが聞いた福音の希望から離れてはなりません」(23節)。パウロが受けたのは、「十字架のキリストに示された神の愛から、わたしたちを引き離すものは何もない！」という福音。どんな悲劇、不条理においても私たちが見放されることは決してない。神は必ず、その慈しみを見せてくださるから。</p>
<p>27日 (日)</p> <p>コロサイ 2章</p>	<p>「知恵と知識の宝はすべて、キリストの内に隠れています。」(3節)。キリストに結ばれる生活は、キリストの知恵に溢れている。頭であるキリストに結ばれたわたしたちは支えられ、結び合わされ、神に育てられて成長することができるとパウロは語る。キリストの知恵によって日々新たにされて、キリストの恵みの内に歩みたいと願います。</p>